

2023 ~ 2024 年度国際ロータリーのテーマ

世界に希望を生み出そう

- 会長 中島 祐爾
- 幹事 緒方 公一

No.1853 令和 06 年 03 月 06 日 第 30 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30~

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

 ※ URL <https://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org


世界に希望を生み出そう



■ 点鐘

■ 国歌斉唱「君が代」

■ ロータリーソング「四つのテスト」

(ソングリーダー 古田哲朗)

■ 熊本東南ロータリークラブの歌「未来」

■ 来訪者紹介 (会長 中島祐爾)

卓話者

- 熊本東南 RAC 宮田真二 君
- 熊本東 R C 平木邦昭 君
- 熊本東 R C 坂本公貴 君



■ 来訪者からの一言

熊本東 R C

 坂本公貴 60 周年実行委員長、
平木邦昭 60 周年式典委員長

熊本東 R C 60 周年記念式典の案内

令和 6 年 7 月 7 日 (日)

熊本ホテルキャッスル

■ 今月の誕生日

3 月誕生日

【会員】	
前田 昭博	3月2日
小竹 誠	3月12日

【配偶者】	
草村久美 様	3月16日
西田 愛 様	3月9日



■ 会長の時間 (会長 中島祐爾)

アーサー・フレドリック・シェルドン

略歴 1868 年生まれ

1899 年シカゴで出版社設立

1902 年シェルドン・ビジネス・スクール開校

(商売に成功する方法) など商売に関する本も出版



ロータリーといえばポールハリスは皆さんご存じと思います。ロータリークラブの創設者の一人です。でもこのアーサー・フレドリック・シェルドンは 1905 年のロータリー創設者ではありません。ロータリークラブ入会は 1908 年ハリーラグラスに誘われてチェスリー・ペリスと共にシカゴ RC に入会しています。誘ったハリーは親睦・互恵派でこの二人を勢力拡大の目的で入会させたが、二人ともポールハリスの考え方に同調して奉仕・拡大派として行動していきました。

ロータリーには 2 つの公式標語があります。一つは「超我的奉仕」それともうひとつが「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」です。

この「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」は 1911 年、オレゴン州ポートランドで開催された全米ロータリークラブ連合会の第 2 回ロータリー大会でロータリーの標語として承認されました。英語で言うと「He profits most who serves best」です。

これは、前年にシカゴで開かれた第 1 回ロータリー大会で、アーサー・フレドリック・シェルドンが行った演説を基に作られた標語です。

実は第 1 回大会の晩餐会でのスピーチでは多くのスピーチがあり、その中の一つであったため殆ど注目されなかったそうです。その時の言葉は「He profits most who serves his fellows best」(自分の事業に関係する人たちに、最も奉仕した人が、最も多く報いられる)という言葉でした。ビジネススクールを開校しているシェルドンらしく商売に掛ける言葉であったと思います。

そして翌年第 2 回大会で「私の宣言」というスピーチの内容が、参加者に極めて強い印象を与えたため、大会議事録として配布された報告書の中に印刷されたうえ、He profits most who serves best という言葉が、この大会で採択され「ロータリー宣言」の結語として採用されました。この大会でのスピーチではシェルドンは欠席していて、チェスリー・ペリーが原稿を代読していました。その後イギリスやヨーロッパ大陸では、このシェルドンが提唱した「profits」利益という言葉に対する反発は強く、毎年このモットーを廃止しようとする提案が出されたそうです。



1929年ダラス大会では危うく廃止されようとしていました。この大会で身体障害児童の救済事業がロータリーの最優先課題として実践することが決定しています。

それでもこの標語は残り2004年規定審議会で「They profits most who serves best」に修正され、さらに2010年規定審議会で現在の標語「One profits most who serves best」となりました。人間の欲としてどうしても「最も多く報われる」だけを求めてしまいがちですが、そうではなく自ら多くの奉仕を行ってからの報いがある。それが一番気持ちいいし、笑顔になれます。仕事でも一生懸命やって利益が出れば会社も潤い、社員にも還元でき笑顔が見られ明るい社内になると思います。これからもこの「One profits most who serves best」を思い出して仕事にロータリー活動に励んでいきます。

■幹事報告 (幹事 緒方公一)

■来信案内

1) 膳所和彦ガバナーより、能登半島地震支援寄付金のお礼(再送)。(おかげ様で最終的には16,665,387円という多額の援助金を2610地区災害対策事務局へ送ることができました。)

■クラブより

1) 本日の例会終了後に、第9回定例理事会を開催いたします。

2) 本日15時15分より、市役所にてテント贈呈式が行われます(40周年の記念事業のひとつ)。

■今後の地区行事

2024	4月7日(日)	地区研修・協議会	熊本県熊本市	熊本城ホール
		山田公也、彌富照皇、前田日出夫、福井学、片岡貞志、松岡泰光、村瀬直久、古田哲朗、堤勝也、杉本整哉、西田智史、武末直大、宮川義行		
	5月17日(金) ~ 18日(土)	地区大会	大分県日田市	パトリア日田・日田温泉小京都の宿みくまホテル
		案内中		

■ロータリーの友3月号紹介

(雑誌・会報担当 松尾 浩)

今月は水と衛生月間

横書き

P5 会長メッセージ

P7 ~ トイレ、その先へ オブジェについて 日本では鎌倉時代の書物、ヨーロッパでは1670年代の絵に描かれている。ロータリーの初の奉仕活動がカンガゴ市の公衆トイレ寄贈。

P16 ~ ステファニー・アーチック会長エレクト
アメリカ・ベンシルメニア州マクマーリー出身



職業歴・バンド→大学の就職支援課→コンサル・研修
テーマ「ロータリーのマジック」

P20 ~ ポリオ根絶とロータリー 尾身さん
P35 2720地区 八代RC

縦書き

P4 ~ P8 処置水について
肩書は長い
ALPS処理水

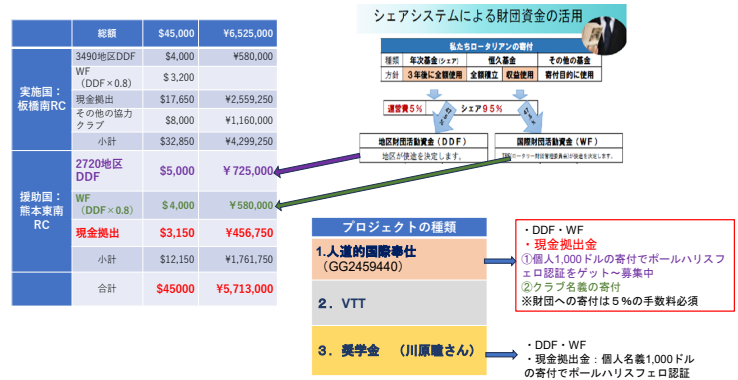
■委員会報告

(ロータリー財団委員 彌富照皇)

グローバル補助金について



◎プロジェクト名: 腎臓病予防キャンペーン GG2459440◎実施日: ①2024年5月5日: 宜蘭市
②2024年6月16日(日): 板橋市(活動参加者募集中)



■委員会報告

(会計 草村安宏)

銀行窓口での入金手数料が大幅に値上がりしましたので、手集金していたものは口座振り込みに、コインボックスはなるべく大きな小銭で等、皆さまのご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



■出席報告

(出席・プログラム担当 小竹 誠)

月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率 (%)
02月21日	42 (免3) 39	28	5	33	84.61
03月06日	43 (免3) 40	30 Zoom2			75.00

☆新入会

02月28日 宮國龍乃

☆出席免除

02月21日
住江正治 島村徹男 永野昭一

03月06日
住江正治 島村徹男 永野昭一



☆欠席者

02月21日(7名)

川崎直樹、井村宣敏、松尾 浩、小野川善久、武末直大、山本浩之、山坂哲生

■スマイル報告

(親睦・スマイル担当委員 生駒あき)



◎坂本公貴 様・平木邦昭 様

(熊本東RC) 2,000円
60周年記念式典ご案内に参りました。



◎草村安宏 100,000円

私は東南ロータリークラブに入会してもうすぐ7年経とうとしています。振り返るとロータリーを通していろんな人との出会い、感動、そしてアドバイスなど、大変有意義にすごさせていただいております。誘っていただいた内田実行委員長には大変感謝しております。また、ロータリークラブの皆さまにも感謝しております。さて、当クラブでは今年40周年の節目を迎えます。来月は記念式典が開催されます。皆さん、それぞれ準備はされていると思いますが是非とも盛大な式典にしたいと思っております。大成功を祈念してスマイルさせていただきます。



◎小竹誠 5,000円

先日のボウリング大会で5~6年ぶりにボウリングして、素直に投げたら優勝させていただきました。チャンピオンスマイルさせていただきます。



◎宮川義行 5,000円

熊本東RCの坂本様、平木様のご来訪を歓迎します。本日はアクト会員増強委員長 宮田さんの卓話楽しみにしています。2月29日熊本市議会で当クラブの山本議員の一般質問の傍聴に行きました。渋滞対策や地域活動、まち作りの取り組みについての質問がありました。TSMCについて、すでに設置されてきた熊本上海事務所の活用と台湾事務所の設立についても言及されていました。いつもよく勉強しているのが分かります。市民の生活改善のために頑張っている山本会員をこれからも応援していこうと思っております。



◎前田日出夫 3,000円

・熊本東RC坂本さん、平木さんの来訪を歓迎します。
・熊本東南RAC宮田真二さんの卓話楽しみにしています。



◎小畑成司 2,000円

宮田君の卓話楽しみにしています。元気に発表してください!!



◎松本繁 2,000円

親クラブの熊本東RCより坂本60周年実行委員長と平木式典委員長のご来訪を歓迎してスマイル致します。

■卓話

熊本東南ロータリーアクトクラブ

宮田真二君

「ロータリー・地区代表の役割について」



卓話者紹介 杉本整哉 青少年奉仕担当

RA地区代表について

2024年3月6日
地区代表エレクト 宮田 真二

自己紹介



- ・所属：熊本東南ロータリーアクトクラブ
- ・アクト歴：3年目(2021年7月入会)
2022・2023 熊本東南RAC会長
2024・2025 第2720地区RA地区代表
- ・出身：熊本県宇城市
- ・略歴：高校まで熊本で過ごし、大学で大分へ
大分で就職し、転勤で熊本へ帰る
- ・趣味：サッカー観戦、フットサル、釣り
- ・家族構成：妻、娘3歳
- ・性格：マイペース、いじられキャラ?

自己紹介(2024年2月末時点)

地区代表に立候補するまで

- 役割
第2720地区：District Rotaract Representative (2024-2025)
Kumamoto Tonan (Southeast) (ロータリーアクトクラブ)：クラブ会長(2022-2023)
- ロータリー対国の認証
Paul Harris Fellow：PHF (2023-24)
Paul Harris Society Eligible：Paul Harris Society Eligible (2023-24)
EREY Eligible：EREY (2023-24)
EREY Banner Eligible：EREY Banner Eligible (2023-24)
Sustaining Member Eligible：Sustaining Member (2023-24)
TRF Giving：TRF Giving (2023-24)

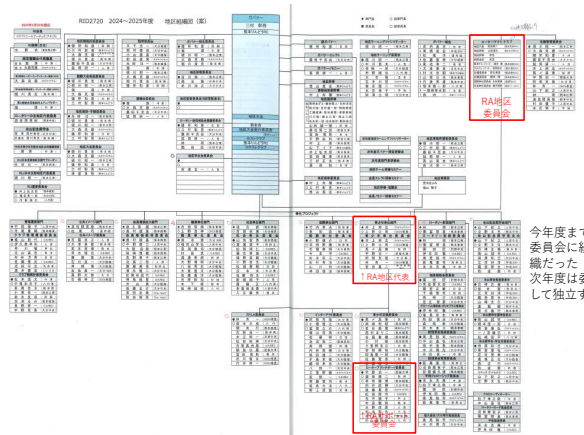
- ・1年間クラブ会長及び地区役員を務めること
- ・提唱クラブの承認を得ること
- ・9月10日までが立候補期限
- ・会長幹事会(年次大会前に開催)での承認を得ること

地区代表の役割

- ・ロータリーアクト代表は、ロータリーの使命を支えるため、ロータリーアクト・プログラムを推進します。
- ・また、ロータリアンとロータリーアクトの間で連絡のハブ役となるほか、情報源としてクラブ役員にアドバイスや指導を行います。

地区代表の責務

- ・地区ロータリーアクト代表は、以下の責務を担います。
- ・地区内の全ロータリーアクトを代表する
- ・地区がバーナードに地区ロータリーアクト委員長と連絡を取り合う
- ・地区ロータリーアクト委員会の共同委員長を務める(2720地区では異なる⇒地区組織図案参照)
- ・奉仕と親睦のために、地区内のクラブをまとめる
- ・ロータリー・クラブと地元地域で、ロータリーアクトの活動を紹介する



今年度まではRA委員会に紐づく組織だった次年度は委員会として独立する

地区代表のRIの任務

- ・RI方針による以下の任務も担います。
- 1. 地区ロータリーアクト・ニューズレターを作成し、配布する
- 2. 地区ロータリーアクト大会を計画、準備、開催する
- 3. ロータリー地区大会へのロータリーアクトの参加を奨励する
- 4. ロータリーアクトの推進と拡大活動を行う
- 5. ロータリーアクト・クラブがプロジェクトを実施する際、助言と援助をする
- 6. 地区内で、ロータリアンとロータリーアクト合同の活動を調整する
- 7. 地区レベルでのロータリーアクト広報活動を調整する
- 8. 地区でロータリーアクト・クラブ役員のための研修を行う

地区代表エレクトの活動

- 2023年11月~2024年6月
- ・次年度地区役員を選定、地区ターゲット、行事日程の作成
 - ・RAサポート委員会(現RA委員会)との連携
 - ・今年度の地区役員会議への出席(月1回)
 - ・今年度の地区行事、会長幹事会等への出席
 - ・他地区の行事への参加(全国研修会@山形、7地区の年次大会@岡山、広島等)
 - ・ロータリー行事への参加(地区チーム研修、PETS、地区研修・協議会、RYLA等)

・12クラブ+休会3クラブ 会員101名 (2023年末時点)

・大分：津久見、大分、別府、別府北（休会）、日田中央、大分中央

・熊本：八代、人吉、熊本北（休会）、熊本南、火の国、城東、東南、グリーン、玉名（休会）

・地区研修会のホストクラブに立候補していますので、承認された際には、開催のご支援をお願いします。

・アクトの会員増強にご協力ください。

・地区の各部門とアクトの連携を進めていますので、クラブでの連携をお願いします。

最後に

本日は卓話の機会を頂きありがとうございました。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

■点鐘

編集 松尾 浩

まずは自分の体を知ることから

投稿日：9月6, 2023 投稿者：Rotary Japan

寄稿者：白川 美咲 (大阪西南ローターアクトクラブ元会員)

大阪西南ローターアクトクラブ (RAC) では、これまで生理の貧困への取り組みや、国内外の女性の健康と社会進出への支援を続けてきました。

フィリピンの女の子に月経カップを届ける



月経カップの贈呈。

フィリピンにて。

2020年、大阪西南 RAC のスポンサークラブである大阪西南ロータークラブ (RC) は、地区補助金を活用し、フィリピン・ルソン島のターラックにトイレを設置するプロジェクトを企画。そこで大阪西南 RAC は、併せて現地の女子学生に向けて性教育を実施し、さらに、生理用品を買わずに学校に行けなくなる子や、不衛生な生理用品を使って病気になるリスクを抱えている子を少しでも減らしたいという思いから、月経カップを届ける事業を大阪西南 RC と合同で試みようとして計画していました。しかし、そこへコロナ禍。全て延期となっていました。

コロナ禍が落ち着いてきた 2023 年 3 月、両クラブでやっと現地を訪ねることができました。現地では、日本で制作した英語の動画と資料を使って、女子学生を対象に生理や妊娠の仕組み、生理中の対策、月経カップの使用法を説明する性教育講座を実施。月経カップも 50 個提供しました。余った月経カップはフィリピンのターラック RAC が、国際女性デーで新たに女性たちに配布してくれました。今回の活動を通じて、フィリピンの女性や子どもたちが快適に過ごせることを願います。

国際女性デーに月経カップを配布したフィリピン・ターラック RAC のローターアクトたち。



2022-23 年度は、大阪西南 RAC 単独で地区補助金の申請を行い、日本の子どもたちの生理の貧困に対しての奉仕事業を実施しました。生理の貧困対策事業は日本国内でも推進されてきていますが、まだまだ十分とはいえません。生理用品が購入できない、適切なタイミングでナプキンの交換ができない女性や子どもたちが日本にも大勢います。大阪西南 RAC では、2023 年 1 月、子ども食堂「こもれび」に、生理用品や性教育の本を提供すると同時に、知識の貧困という面から、子どもに携わる大人向けの性教育講座も実施。世界保健機関、国連女性機関などが共同で発表した『国際セクシュアリティ教育ガイドダンス』のガイドラインを基に、プライベートゾーン、人間関係などの単語を切り口として、子どもたちに必要な知識を提供しました。また、ナプキン不要のサニタリーショーツを販売・普及している Girls Leap 運営統括責任者の宮口真由美氏に協力いただき、パンツ型の生理用品・吸水ショーツ計約 300 枚を地域の子どものに配布。地区補助金を活用することで、たくさんの物資を提供することができ、活動のインパクトを高められたと思います。生理の貧困に苦しむ女の子たちが少しでも減るよう願っています。

ロータリアンと共に、IM でディスカッション

性教育講座はローターアクトクラブ内でも実施。これらの活動がロータリアンの皆さんの耳に入り、2023 年 4 月、地区のインターシティミーティング (IM) 第 5 組ロータリーデーのパネルディスカッションの際に登壇させていただきました。今回の IM のテーマは「1 人の子供はみんなの子供」。基調講演者で演出家の奈良橋陽子氏、多様性教育ファシリテーターの内山唯日氏、子どもと関わるロータリー学友と共にパネルディスカッションを行いました。各自が今までどのように子どもに関心を持ち活動をしてきたか、私たち大人一人一人が日本の子どもたちに何から始めるとよいか、ロータリー活動の中でどのように今後活動をしていきたいのか、子どもたちとどう関わることが大切なのかを討論し、自分自身の考えを深めるだけではなく、他の参加者の知見を聞くことでより幅広い視野を持つことができました。

これからも、子どもたちがより良く過ごせる社会にするために私たち大人ができることは何か、という視点から考えていきたいです。

※「月経カップ」：医療用シリコンで作られ、煮沸消毒することで約 10 年繰り返し使用できる生理用品。

(本稿は『ロータリーの友』誌 2023 年 7 月号に掲載されたものです。)



【寄稿者プロフィール】

白川 美咲 (しらかわ みさき)

大阪西南ローターアクトクラブ OG。助産師としてローターアクトやロータークラブで性教育活動の一環として計 21 回助産師例会を実施。これまでに『ロータリーの友』誌でその活動が

5 回掲載されている。2022-23 年度には国内補助金、国際補助金を使用し国内外の子どもとかかわる支援者に向けて性教育活動を実施するなど幅広く活動。

ロータリーボイスより